

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン 案

令和 7 年 4 月 1 日現在 江戸川区立篠崎第三小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和 8 年度の目標	60.0%	60.0%
令和 7 年度の目標	50.0%	55.0%
令和 6 年度の結果	46.4%	46.3%
令和 5 年度の結果	47.8%	44.8%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第 6 学年	29.0%	34.9%
第 5 学年	48.7%	51.3%
第 4 学年	39.0%	37.5%
第 3 学年	33.3%	35.9%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・校内研究を通して、「聞くこと」に 重点をおき研究し、そこで培ったスキルを他教科に取り入れ、自ら考え、学び合う児童の育成をする。	・東京ベーシックドリル診断 テストを各学期 2 回ずつ実施する。 (4・5年生は江戸川区学力定着度調査を実施) ドリルパークを朝学習等で継続使用していく	・江戸川区Study Weekと関連した取組として、「家庭学習週間」を各学期に 2 週間ずつ実施する。また、家庭学習の例示を行う。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・「話すこと」「聞くこと」に重点をおき、「話し方 名人」「聞き方名人」など、話すことに苦手な児童も 取り組めるようにする。	・放課後学習教室 (EDOスク) 事業者と連携して支援を実施する。 ・週一度の学級担任による補習を実施する。	・ドリルパークを週末の課題とし、各児童にあった目標 (回数、時間) を立て、実施する
成果指標	・3 学期に行う国語学習の アンケートにて、「話す こと」「聞くこと」を「とてもすき」「すき」と肯定的にとらえられる児童を 9 0 % 以上。	・東京ベーシックドリル診断 テスト 7 割達成者を 7 0 % 以上。(4・5年生は江戸川区学力定着度調査で 7 0 % 以上) ・江戸川区学力調査の算数でAB層の割合を全学年45%以上	・全国学力調査において「授業時間以外の勉強時間」が 1 時間以上の割合 9 0 % 以上。